

第1号様式

(第1面)

開発事業地球温暖化対策計画

事業者の氏名 又は名称	フリガナ ミツイトウサンレジデンシャル 氏名 三井不動産レジデンシャル株式会社 代表取締役社長 藤林 清隆 フリガナ ジェイエックスニコウニッセキフトウサン 氏名 J X 日鉱日石不動産株式会社 代表取締役社長 田畑 行弘			
主たる事務所又は 事業所の所在地	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目1番20号 〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地8			
開発事業の名称	(仮称) 小杉町二丁目開発計画			
開発事業を行う 土地の位置及び区域	川崎市中原区小杉町二丁目地内			
開発事業の目的	・商業、業務、公益等施設の建設 ・共同住宅の建設			
工事の着手 予定年月日	2013年 5月 1日			
工事の完了 予定年月日	2016年 11月 末日			
開発事業の概要	区域面積	約 20,230 m ²		
	床面積	約 139,300 m ²		
主な予定建築物の内容	棟番号	用途	床面積	備考
	A地区	物販店、飲食店、事務所、住宅、その他	約 69,130 m ²	
	B地区	物販店、飲食店、事務所、住宅、その他	約 70,170 m ²	
			m ²	
			m ²	
			m ²	
	床面積の合計		約 139,300 m ²	

(第2面)

温室効果ガスの排出の抑制等を図るため実施しようとする措置の内容	エネルギーの使用の合理化	・断熱性に優れた部材の採用等により、省エネルギーや冷暖房効率に配慮した構造とする。 ・太陽光パネルと高効率な空冷ヒートポンプ式エアコンの併用により、エネルギーの使用量及び温室効果ガス排出量の削減を図る。 ・「エネルギー使用量の見える化」により、エネルギー使用量抑制の啓発を図る。
	ヒートアイランド現象の緩和	・必要とされる緑被面積に加えて、可能な限り屋上緑化を行うことで、人工被覆の改善に努める。 ・通路等の舗装は、透水性舗装の採用により、熱の吸収蓄熱の低減に努める。 ・低層棟の設備機器は、可能な限りエネルギー効率の高い、新しい設備機器を導入し、人工排熱の抑制を図る。
	交通環境への配慮	・居住者及び来客者、並びに公益・業務・教育・商業施設の従業員に対しては、掲示板等により、アイドリングストップ等のエコドライブの遵守及び公共交通機関の利用を促すなど、交通環境に対して配慮する。
	緑地の保全と緑化の推進	・「川崎市環境影響評価等技術指針」に基づく緑被率を確保するとともに、屋上緑化等さらなる緑化を実施する。 ・全体の緑の構成を考慮し、高木・中木・低木、地被類を適切に組み合わせるとともに、地上部の緑化地と庭園広場に加え、屋上緑化や壁面緑化の実施により、立体的な緑化空間を創出する。 ・計画地周辺の公園や街路樹との緑のネットワークの形成を図る。
	工事に係る配慮	・可能な限り最新の排出ガス対策型建設機械の使用に努める。 ・施工計画を十分に検討し、建設機械の集中稼働を回避する。 ・建設機械に無理な負荷をかけないようにする。 ・建設機械の整備・点検を徹底する。 ・工事用車両が特定の日または時間帯に集中しないよう、計画的な運行管理を行う。 ・型枠材は、繰り返し使用できる型枠を使用するなど、材料や工法に配慮する。
	その他	・工事に伴って発生する廃棄物は、適切に分別するとともに、極力再利用・再生利用を図る。再生利用できない廃棄物は、法令に基づいた適切な処理方法及び処理業者の選定を行う。
再生可能エネルギー源の利用	検討結果	☒ 導入する ☐ 導入しない
	導入機器	太陽光発電システム（屋上設置）

(第3面)

特定建築物の 評価の目標	棟番号	評価の目標
	A地区	総合評価 A
	B地区	総合評価 A
備考		

- 備考 1 用途の欄は、次から当該予定建築物の主たる用途を記入してください。
[事務所／学校／物販店／飲食店／集会所／工場／病院／ホテル／住宅／その他]
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 特定建築物の評価の目標については、予定建築物が川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例（平成11年 川崎市条例第50号）第127条の4第1項の特定建築物に該当する場合、同項第5号に規定する環境性能の評価の目標について記載してください。